

## 平成29年度 事業報告

昨年度に引き続き、今年度も度重なる豪雨や台風などの自然災害に見舞われ、県内でも日田市を中心に畜産関係にも大きな被害を受け、本協会も農畜産業振興機構の事業の周知や活用を積極的に支援し、被災農家が円滑に復旧、復興に取り組んでいただけるよう努めてきたところであります。

また、一昨年流行期には全国各地で多発した高病原性鳥インフルエンザは、昨年11月以降は野鳥で主に発生し、家きんでは香川県の1例の発生でしたが、今後更に防疫体制、生産者自らが衛生対策を強化していく必要があります。

さて、畜産を取り巻く情勢は、国際的にはアメリカが離脱したものの昨年11月に「包括的及び先進的な環太平洋パートナーシップ協定（TPP11）」が大筋合意し、3月には調印が行われるとともに、「日EU・経済連携協定（EPA）」も昨年12月に妥結するなど、新たな局面を迎えています。また、国内では依然として畜産物価格は総じて堅調に推移していたものの、戸数や生乳生産量が減少傾向にある中、来年度から始まる新たな加工原料乳生産者補給金制度の実効性や、米政策の転換による稲WCSや飼料米の供給への影響など、畜産農家への影響が懸念されています。

このような状況の中、畜産は本県農業の35%を占める重要な品目であることから、当協会は、県、市町、農協等関係機関の協力をいただきながら、生産者の経営支援対策、価格安定対策、家畜衛生対策として各種事業に取り組みました。

経営支援対策では、畜産コンサルタント委託事業について県振興局等関係機関との推進体制を見直し、集団的指導の強化に努めるとともに、生産者の収益性の向上を図るため、畜産クラスター関連事業をはじめ肉用牛経営安定対策補完事業や協会の豊後牛増頭チャレンジ推進事業など、各種機械や肉用繁殖雌牛の導入のための支援を行い、生産基盤の強化に努めてきました。

価格安定対策では、肉用子牛生産者補給金制度、肉用牛肥育経営安定特別対策事業、養豚経営安定対策事業を実施する中で、子牛市場価格は28年12月市場をピークにやや下落しているものの、依然として高値で推移しており、肉用子牛については補填金の交付はありませんでした。一方、肥育牛では牛マルキンの肉専用種の地域算定に

において、7月に本県が全国で初めて補填を発動して以降継続発動されており、交雑種では、28年11月に、乳用種では28年の7月以降補填金を交付しており、本年度は全畜種で8,435頭に367,368千円の補填金を交付し肥育生産者の支援を行いました。

家畜衛生対策では、口蹄疫や高病原性鳥インフルエンザ等海外悪性伝染病に対する予防・啓発活動に取り組むとともに、ワクチン接種等により家畜の損耗防止を推進し、経営の安定を図るとともに、飼養衛生管理基準の遵守など関係機関と連携して自衛防疫の推進を図りました。特に、飼養衛生管理の向上を目指す生産者に対し、農場HACCP認証支援地域強化促進事業により、制度の普及並びに認証取得に向けた支援を行いました。

その他、種牛の部では内閣総理大臣賞を受賞するなど優秀な成績を収めた「第11回全国和牛能力共進会」への参画や、大分県農林水産祭の一環行事として第78回大分県畜産共進会、畜産フェスタ等を開催し、畜産振興並びに畜産物の消費拡大をはじめ、畜産に対する理解の醸成に取り組んでまいりました。

本協会の運営は、国、県の補助事業や家畜飼養頭数の減による手数料等の減少で厳しい運営状況ではありますが、新規事業や事業推進による事業量の拡大に取り組むとともに、運営経費の削減に努め、公益法人としての役割を果たすため、役職員一丸となって努力してまいりました。

本協会の運営状況

1. 役員会の開催

区分	開催月日	主要議決事項	出席人員	備考
監事会	平成29年 5月29日	平成28年度事業及び収支決算の監査	監事3名	
理事会	平成29年 6月 1日	(1) 基本財産の処分に係る承認について (2) 家畜畜産物衛生指導事業業務規程の一部改正について (3) 就業規則並びに育児・介護休業規程の一部改正について (4) 平成28年度事業報告、貸借対照表正味財産増減計算書及び財産目録の承認について (5) 役員の変更(案)について (6) 平成29年度第1回通常総会の開催並びに提出議案の承認について	理事9名 監事1名	
理事会	平成29年 6月26日	(1) 会長の選定について (2) 専務理事の選定について	理事8名 監事3名	
理事会	平成29年 8月 2日	(1) 理事の選任(案)の承認について (2) 就業規則の一部改正について (3) 臨時総会の開催並びに提出議案の承認について	理事12名 監事 1名	
理事会	平成29年11月20日	(1) 理事辞任に伴う補欠選任(案)について (2) 平成29年度第2回臨時総会の開催並びに提出議案の承認について	省略決議 理事14名 監事 3名	書面
監事会	平成29年11月29日	平成29年度上半期監査	監事3名	
理事会	平成30年 3月 1日	(1) 肉用子牛生産者補給金制度業務規程の一部改正について (2) 肉用子牛生産者補給金制度における生産者積立準備金の返還不能者に対する対応について (3) 給与規程の一部改正について (4) 平成29年度補正予算(案)の承認について (5) 平成30年度会員会費負担額及び徴収期日の承認について (6) 平成30年度役員報酬の承認について (7) 平成30年度予防接種事業標準対価について	理事11名 監事 0名	

		(8) 平成30年度事業計画及び収支予算(案)の承認について (9) 資産等の預入先及び運用取引先の承認について (10) 借入金の最高限度額及び借入先金融機関等の承認について (11) 育児休業規程の一部改正について (12) 理事の選任(案)について (13) 平成29年度第2回通常総会の開催並びに提出議案の承認について		
--	--	--	--	--

## 2. 通常総会の開催

### 第1回

開催月日・開催場所	平成29年6月16日・レンブラントホテル大分		
総会日現在会員数(A)	48会員		
出席会員数	実出席会員数(B)	会員	12 (出席率B/A 25.0%)
	書面による出席会員数	会員	33
	計(C)	会員	45 (出席率C/A 93.8%)

#### 主要議案及び議決事項

- (1) 基本財産の処分に係る承認について
- (2) 平成28年度事業報告、貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録の承認について
- (3) 役員の変更について

### 第2回

開催月日・開催場所	平成30年3月27日・全農大分3階 301会議室		
総会日現在会員数(A)	48会員		
出席会員数	実出席会員数(B)	会員	8 (出席率B/A 16.7%)
	書面による出席会員数	会員	36
	計(C)	会員	44 (出席率C/A 91.7%)

#### 主要議案及び議決事項

- (1) 平成29年度補正予算(案)の承認について
- (2) 平成30年度会員会費負担額及び徴収期日の承認について
- (3) 平成30年度役員報酬の承認について
- (4) 平成30年度事業計画及び収支予算(案)の承認について
- (5) 資産等の預入先及び運用取引先の承認について
- (6) 借入金の最高限度額及び借入先金融機関等の承認について
- (7) 理事の選任について

### 3. 臨時総会の開催

#### 第1回

開催月日・開催場所	平成29年8月24日・大分県農協本店 3階	
総会日現在会員数 (A)	48会員	
出席会員数	実出席会員数 (B)	会員 13 (出席率B/A 27.1%)
	書面による出席会員数	会員 33
	計 (C)	会員 46 (出席率C/A 95.8%)

#### 主要議案及び議決事項

- (1) 理事の選任 (案) について

#### 第2回

開催月日・開催場所	平成29年12月20日・大分県農協本店 3階	
総会日現在会員数 (A)	48会員	
出席会員数	実出席会員数 (B)	会員 9 (出席率B/A 18.8%)
	書面による出席会員数	会員 11
	議決権行使によるもの	会員 25
	計 (C)	会員 45 (出席率C/A 93.8%)

#### 主要議案及び議決事項

- (1) 理事の選任 (案) について

### 4. 会員の状況

異動 資格別	前年度末 現在	本年度 増	本年度 減	本年度末 現在	備考
正会員	48	0	0	48	
賛助会員	1	0	0	1	
計	49	0	0	49	

### 5. 役員の状況

異動 区別	前年度末 現在	本年度 辞任	本年度 就任	本年度末 現在	備考
常勤理事	1	0	0	1	
非常勤理事	13	6	6	13	
非常勤監事	3	1	1	3	
計	17	7	7	17	

6. 従業員の状況

異 動	前年度末 現 在			本年度末 現 在			増 減		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
職 員	3	2	5	5	2	7	2		2
嘱託（常勤）	5	0	5	4	0	4	△1		△1
臨時事務員	0	2	2	0	0	0		△2	△2
パート職員	0	5	5	0	5	5			
計	8	9	17	9	7	16	1	△2	△1

7. 平成29年度主要行事等

月 日	内 容	場 所
4月18日	大分畜産ネット“鼓動”通常総会	大分市
4月20日	ゆめネットおおいた 通常総会	由布市
5月13日	県畜産共進会 全体会議	大分市
5月15日	畜産協会 事業説明会	大分市
5月29日	監事決算監査	大分市
6月 1日	第1回 理事会	大分市
6月16日	第1回 通常総会	大分市
6月20日	全国肉用牛振興基金協会通常総会	東京都
6月21日	中央畜産会通常総会	東京都
6月26日	第2回 理事会	大分市
6月29日	人権啓発リーダー研修	大分市
7月 3日	大分県豊後牛生産者組織連絡協議会 総会	大分市
7月 7日	地方競馬全国協会 監査	大分市
7月13日～14日	家畜畜産物衛生指導業務九州ブロック協議会	熊本県
7月20日～21日	畜産特別資金等指導推進事業九州ブロック会議	長崎県
8月 2日	第3回 理事会	大分市
8月24日	第1回 臨時総会	大分市
9月5日～11日	第11回全国和牛能力共進会 宮城大会	宮城県
10月5日～6日	マルキン事業九州ブロック会議	鹿児島県
10月 7日	第78回大分県畜産共進会 肉牛の部	豊後大野市
10月14日	第78回大分県畜産共進会 肉用牛の部	別府市
10月14日～15日	大分県農林水産祭 畜産フェスタ	別府市
10月17日～18日	肉用子牛補給金制度九州ブロック会議	沖縄県
10月25日	第78回大分県畜産共進会 乳用牛の部	大分市
11月16日～17日	畜産経営指導九州ブロック会議	福岡県
11月20日	第4回 理事会〔省略決議〕	大分市
11月29日	上半期監事監査	大分市
11月30日～12月1日	九州ブロック専務・事務局長会議	福岡県

11月30日～12月1日	九州ブロック経理事務担当者会議	福岡県
11月30日～12月1日	全国優良畜産経営管理技術発表会〔日田市 岩見牧場〕	東京都
12月20日	第2回 臨時総会	大分市
2月 3日～ 4日	畜産協会事務所 移転	大分市
2月13日～14日	全国肉用牛振興基金協会 現地指導	大分市
3月 1日	第5回 理事会	大分市
3月12日～13日	管理責任者研修会	東京都
3月27日	第2回通常総会	大分市

## 8. 会員の状況

### 寄託金及び会費一覧表

(平成30年3月31日現在)

(単位:口、千円)

会員名	価格安定				家畜衛生		経営支援	合計
	子牛		肉豚		口数	金額	会員会費	
	口数	金額	口数	金額				
<b>【正会員】</b>								
1 大分県	10,000	100,000	0	0	2,500	25,000		125,000
2 大分県農業協同組合中央会	1	10	0	0	0	0	111	121
3 大分県信用農業協同組合連合会	766	7,660	200	2,000	0	0	346	10,006
4 全国農業協同組合連合会 大分県本部	2,626	26,260	751	7,510	520	5,200	1,455	40,425
5 全国共済農業協同組合連合会	383	3,830	150	1,500	0	0	60	5,390
6 大分県酪農業協同組合	500	5,000	0	0	300	3,000	778	8,778
7 大分県農業信用基金協会	0	0	0	0	0	0	110	110
8 株式会社 大分県畜産公社	0	0	10	100	0	0	130	230
9 (一社)大分県配合飼料価格安定基金協会	10	100	51	510	0	0	60	670
10 (公社)大分県獣医師会	0	0	0	0	60	600	60	660
11 大分県農業共済組合	0	0	0	0	10	100	200	300
12 姫島村	2	20	0	0	0	0		20
13 日出町	13	130	0	0	0	0		130
14 玖珠町	171	1,710	0	0	0	0		1,710
15 九重町	152	1,520	0	0	0	0		1,520
16 国東市	36	360	0	0	0	0		360
17 豊後高田市	11	110	0	0	0	0		110
18 杵築市	71	710	0	0	0	0		710
19 別府市	16	160	0	0	0	0		160
20 大分市	48	480	0	0	0	0		480
21 由布市	148	1,480	0	0	0	0		1,480
22 臼杵市	24	240	0	0	0	0		240
23 津久見市	2	20	0	0	0	0		20
24 佐伯市	39	390	0	0	0	0		390
25 豊後大野市	303	3,030	0	0	0	0		3,030
26 竹田市	327	3,270	0	0	0	0		3,270
27 日田市	58	580	0	0	0	0		580
28 中津市	35	350	0	0	0	0		350
29 宇佐市	102	1,020	0	0	0	0		1,020
30 大分県農業協同組合	3,920	39,200	412	4,120	0	0	2,460	45,780
31 べっぶ日出 "	79	790	2	20	0	0	120	930
32 玖珠九重 "	1,024	10,240	2	20	0	0	120	10,380
33 九重町飯田 "	181	1,810	0	0	0	0	60	1,870
34 下郷 "	11	110	0	0	0	0	60	170
35 (公社)全国和牛登録協会 大分県支部	0	0	0	0	0	0	60	60
36 大分県養豚協会	0	0	0	0	0	0	60	60
37 大分県養鶏協会	0	0	0	0	0	0	60	60
38 県中央豚鶏疾病対策協議会	0	0	0	0	317	3,170		3,170
39 県南地域豚病対策協議会	0	0	0	0	397	3,970		3,970
40 県西地区 "	0	0	0	0	105	1,050		1,050
41 県北 "	0	0	0	0	347	3,470		3,470
42 県南地域鶏病対策協議会	0	0	0	0	70	700		700
43 県西地区 "	0	0	0	0	106	1,060		1,060
44 県北 "	0	0	0	0	291	2,910		2,910
45 県中央牛疾病対策協議会	0	0	0	0	12	120		120
46 県南 "	0	0	0	0	55	550		550
47 県西 "	0	0	0	0	37	370		370
48 県北 "	0	0	0	0	10	100		100
<b>【賛助会員】</b>								
1 シェイエイ北九州くみあい飼料株式会社	0	0	50	500	0	0	500	1,000
総合計	21,059	210,590	1,628	16,280	5,137	51,370	6,810	285,050

正会員 48

賛助会員 1



## (経営支援課)

### 1. 肉用牛経営安定対策補完事業

肉用牛生産基盤の強化に向けて、肉用牛優良繁殖雌牛の導入や農家の高齢化等に対応するためのヘルパー活動の支援を行い、本県肉用牛の増頭を促進した。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
農畜産業振興機構 補助金	61,312,553	52,705,174

#### (1) 肉用牛生産基盤強化対策事業

##### 1) 中核的担い手育成増頭推進

県内の肉用牛経営が優良な繁殖雌牛を計画的に増頭した場合に、増頭実績に応じた奨励金として410頭に対して38,580,000円(1頭当たり80,000円(121頭)、育種価要件の高い牛には100,000円(289頭))の補助金を交付し、本県肉用牛の増頭を促進した。

(単位：頭、円)

事 業 実 施 者	計 画		実 績		
	頭数	金 額	交付頭数	交付金額	
大分県 農業協 同組合	東部事業部 (国東)	22	1,960,000	22	1,920,000
	東部事業部 (杵築)	9	800,000	7	660,000
	東部事業部 (山香)	56	5,520,000	55	5,420,000
	中西部事業部 (由布)	19	1,820,000	15	1,460,000
	中西部事業部 (日田)	19	1,660,000	16	1,540,000
	南部事業部 (佐伯ほか)	24	2,140,000	27	2,400,000
	豊肥事業部 (豊後大野)	14	1,380,000	17	1,640,000
	豊肥事業部 (竹田)	154	14,380,000	98	9,360,000
	北部事業部 (豊後高田)	36	3,340,000	36	3,340,000
	北部事業部 (宇佐)	24	2,180,000	20	1,860,000
	北部事業部 (中津)	32	2,960,000	26	2,420,000
小 計	409	38,140,000	339	32,020,000	
べっぶ日出農業協同組合	8	700,000	8	700,000	
玖珠九重農業協同組合	45	4,000,000	43	3,940,000	
九重町飯田農業協同組合	17	1,600,000	14	1,340,000	
下郷農業協同組合	7	680,000	6	580,000	
合 計	486	45,120,000	410	38,580,000	

##### 2) 優良繁殖雌牛導入支援

繁殖雌牛飼養頭数の維持・拡大を図るため、導入計画に基づき、生産者集団等が雌牛を購入し、一定期間自ら飼養する場合、又は雌牛を購入し、農業者、公共牧場、農事組合法人を含む農業生産法人に対し、一定期間貸し付ける場合の奨励金として38頭の貸付牛に対して1,900,000円(育種価要件の高い牛には、1頭当たり50,000円(38頭))の補助金を交付した。

(単位：頭、円)

事業実施者		計 画		実 績	
		頭数	金 額	交付頭数	交付金額
大分県 農業協 同組合	中西部事業部（日田）	20	1,000,000	7	350,000
	豊肥事業部（竹田）	15	750,000	21	1,050,000
	小 計	35	1,750,000	28	1,400,000
べっぶ日出農業協同組合		1	50,000	1	50,000
玖珠九重農業協同組合		14	700,000	9	450,000
九重町飯田農業協同組合		5	250,000	0	0
合 計		55	2,750,000	38	1,900,000

## 3) 肉用牛ヘルパー推進

農家の高齢化等に対応し、肉用牛生産の労働負担の軽減を図るため、利用組合が実施する肉用牛ヘルパー活動の組織化、要員確保、傷病時等の際のヘルパー利用に係る互助制度の推進等の活動を支援し、各肉用牛ヘルパー利用組合の利用者に対して利用料金の1/3（定休型）～1/2以内で補助金を交付した。

(単位：円)

事業実施者	計 画		実 績	
	事業費	金 額	事業費	交付金額
久住地域肉用牛ヘルパー組合	9,256,500	2,814,366	8,737,875	2,680,687
大分由布畜産サポート組合	3,153,600	973,090	2,738,880	845,122
豊後大野市肉用牛ヘルパー推進協議会	4,723,700	2,126,980	3,890,476	1,769,690
庄内町肉用牛ヘルパー利用組合	1,660,400	699,800	1,498,410	633,226
湯布院肉用牛ヘルパー利用組合	1,208,375	565,547	1,032,875	484,297
合 計	20,002,575	7,179,783	17,898,516	6,413,022

## 4) 肉用牛振興推進指導

中核的担い手育成増頭推進、優良繁殖雌牛導入支援及び肉用牛ヘルパー推進の事業を円滑に実施するための関係機関の調整、増頭確認、肉用牛ヘルパーの実態調査及び推進指導を実施した。

## 2. 豊後牛増頭チャレンジ推進事業

肉用牛の規模拡大による経営の安定や豊後牛の銘柄確立を推進すると共に、地域の活性化を図るため、肉用牛経営等が繁殖雌牛を増頭した場合に、1頭当たり50,000円の奨励金を344頭に対して17,200,000円交付した。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
畜産協会 奨励金	17,000,000	17,200,000

(単位：頭、円)

事業実施者		計 画		実 績	
		頭数	金 額	交付頭数	交付金額
大分県 農業協 同組合	東部事業部 (国東)	6	300,000	10	500,000
	東部事業部 (杵築)	11	550,000	7	350,000
	東部事業部 (山香)	23	1,150,000	20	1,000,000
	中西部事業部 (由布)	22	1,100,000	15	750,000
	中西部事業部 (日田)	14	700,000	16	800,000
	南部事業部 (佐伯ほか)	28	1,400,000	25	1,250,000
	豊肥事業部 (豊後大野)	28	1,400,000	17	850,000
	豊肥事業部 (竹田)	97	4,850,000	98	4,900,000
	北部事業部 (豊後高田)	35	1,750,000	24	1,200,000
	北部事業部 (宇佐)	28	1,400,000	19	950,000
	北部事業部 (中津)	24	1,200,000	25	1,250,000
小 計		316	15,800,000	276	13,800,000
べっぷ日出農業協同組合		11	550,000	8	400,000
玖珠九重農業協同組合		52	2,600,000	43	2,150,000
九重町飯田農業協同組合		13	650,000	11	550,000
下郷農業協同組合		5	250,000	6	300,000
合 計		397	17,000,000	344	17,200,000

### 3. 畜産特別資金等推進指導事業

畜産特別資金等借入者の早期経営改善に向け、関係機関と一体となって総合的な支援、指導を実施した。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
中央畜産会 補助金	4,200,000	3,939,706

実施事項	人数 戸数	内 容
都道府県支援推進協議会の開催	2回 (延べ30名)	大分県大家畜・養豚特別支援協議会構成員を参集し前年度事業実施報告並びに本年度事業実施について協議した。また、中央支援協議会と本支援協議会との意見交換会を開催した。
融資機関への指導・助言	4機関	畜特資金の制度、資金融通後の融資機関の役割と借受者に対する支援指導について助言指導を行った。
経営改善計画作成・見直し計画作成指導	7戸	肉用牛繁殖経営1戸、酪農経営5戸、養豚経営1戸の経営改善見直し計画作成に関する支援・指導を行った。また、資金借受希望者が無かったため経営改善計画作成指導は0戸であった。
経営改善計画達成指導	17戸	肉用牛繁殖経営7戸、肉用牛肥育経営2戸、酪農経営4戸、養豚経営1戸を対象に改善計画に対する達成状況や改善状況を確認し指導を行った。また、指導モデルを構築するため酪農経営2戸、肉用牛肥育経営1戸に対する濃密指導を行った。

借入者の経営改善のための指導資料作成	50部	資金制度・経営改善指導内容並びに経営改善計画書システムの操作方法に係る畜産特別資金等支援指導推進資料を作成し、融資機関、関係機関に配布した。
その他借入者への指導事項	20人	「経営改善に向けた支援指導の強化」をテーマに融資機関、関係機関を対象に、外部講師による経営改善計画書システム、モニタリングシステム操作の研修会を開催した。

畜産特別資金等借受延べ戸数

(単位：戸)

資 金 名		肉用牛経営	酪農経営	養豚経営	合計
畜産特別資金	大家畜活性化資金	2	1	-	3
	大家畜経営改善資金	5	1	-	6
	大家畜特別支援資金	4	0	-	4
	養豚特別支援資金	-	-	1	1
	大家畜特別支援資金(新)	0	1	-	1
	大家畜改善緊急支援資金	1	3	-	4
畜産緊急支援資金		5	1	-	6
合 計		17	7	1	25

#### 4. 畜産経営技術指導事業（地域畜産支援指導等体制強化）

地方競馬全国協会の補助により県内畜産経営の支援強化を行い、地域畜産の活性化や安全で、安定的な畜産物の供給に向けて以下の事業を実施した。

区 分	予算額（円）	決算額（円）
地方競馬全国協会 補助金	7,801,000	7,801,000

##### (1) 畜産経営の支援体制の強化を図る事業

###### 1) 畜産経営改善のための推進事業

畜産経営 35 戸（肉用牛経営 27 戸、酪農経営 8 戸）を対象に経営面・技術面から経営改善指導、経営管理指導、生産技術指導を行い、畜産経営の改善・安定化を図った。

###### 2) 畜産ネットワーク・担い手支援推進事業

畜産に携わる男性・女性の畜産ネットワーク組織の会員が、中核的な存在として地域畜産を担っていくため、会員間の交流や会員自らのスキルアップのための活動支援を行った。

###### 3) 農業制度資金等活用推進指導事業

公庫資金等の農業制度資金借受希望者に資金相談を行うとともに、制度資金借入希望経営 1 戸を対象に資金借入計画書等の作成支援を行った。

##### (2) 地域畜産の活性化、安全かつ安定的な食の提供に資するための事業

###### 1) 食育・地産地消推進事業

畜産関係団体と連携し、児童・教職員を対象に食育活動や畜産物を提供し、畜産に対する理解醸成と安全・安心な県産畜産物の消費拡大に向けた推進を行った。

###### 2) 地域畜産交流フェア

一般消費者を対象に畜産に関する理解醸成、県産畜産物の消費拡大(広報活動含む。)を推進するために、大分県農林水産祭において生産者・県・関係機関と連携し畜産フェスタを開催した。

3) 畜産共進会開催事業

大分県畜産共進会、肉牛の部(出品頭数50頭)、肉用牛の部(出品頭数41頭)、乳用牛の部(出品頭数57頭)の3部門の開催支援を行った。

4) 飼養衛生管理農場認定支援事業

地域ブランドの確立並びに安全な畜産物の生産に向け、飼養衛生管理基準に基づいた家畜の飼養管理等の認証取得を目指す畜産経営の支援を行った。

5) 種畜精液保管譲渡推進事業

豊後牛の生産基盤の確立及び豊後牛の銘柄確立のため、県有種雄牛の精液保管譲渡の支援を行った。

(3) 馬事・畜産普及啓発の推進体制の強化を図る事業

1) 地方競馬支援対策事業

馬事・畜産普及啓発として、佐賀競馬への冠レースの支援(年1回)・一般参加者による競馬観戦ツアー(2回・延べ25名)を開催した。

5. 畜産コンサルタント委託事業

肉用牛経営及び酪農経営に対して、経営診断による経営改善指導を行い、畜産経営の安定を図った。

区 分	予算額(円)	決算額(円)
大分県 委託費	2,763,000	2,763,000

(1) 畜産経営技術総合支援指導

経営管理や生産技術の分析を行い、改善項目について関係機関と連携をとり改善指導を実施した。

1) 経営改善指導

経営改善の必要な肉用牛経営6戸、酪農経営2戸を対象に経営面・技術面からの経営診断を実施し助言指導を行った。

2) 経営管理指導

肉用牛経営19戸、酪農経営2戸を対象に経営診断を行った。また、酪農経営4戸を対象にした酪農検討会に参画し助言指導を行った。

3) 生産技術指導

肉用牛経営2戸を対象に生産技術の支援指導と経営診断に関する助言を行った。また、幅広く農家の各種要望に応じていくため毎月開催される家畜市場において相談対応を行った。

## 《対象経営戸数》

(単位：戸)

	肉用牛経営		酪農経営	合 計
	繁殖	肥育		
経営改善指導	4	2	2	8
経営管理指導	18	1	6	25
生産技術指導	0	2	0	2
合 計	22	5	8	35

## (2) 畜産情報の提供

ホームページを充実し、畜産農家が容易に利用できる情報や資料を整備し提供するとともに、消費者に向けて畜産等に関する情報を提供した。

## 6. 貸付事業指導等事業

畜産近代化リース協会の機械施設借受者 16 戸（肉用牛経営 1 戸、酪農経営 15 戸）に対して、機械施設 23 台の保管状況の確認と管理状況の調査並びに適正な利用について指導を行った。また、県内各農協に本事業の説明をするとともに、新規利用推進を図った。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
畜産近代化リース協会 委託費	328,000	328,000

## 7. 畜産関係団体調整機能強化事業

## (関係団体調整機能強化事業)

畜産に携わる男性・女性の畜産ネットワーク組織会員の個々のスキルアップための研修会を開催した。また、県外の畜産経営者と交流をし、自らの飼養管理技術のスキルアップを図るため、11月に岡山県の視察研修を行った。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
中央畜産会 委託費	200,000	200,000

## 8. 日本政策金融公庫調査委託事業

## (公庫資金・地域農業支援事業)

(株)日本政策金融公庫の調査委託事業として、7月・1月の子牛市場（玖珠・豊肥）及び畜産に携わる男性・女性ネットワーク組織の研修会において公庫資金の広報・相談活動を行った。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
日本政策金融公庫 委託費	100,000	100,000

9. 公庫資金活用推進事業

公庫資金借入希望者1戸の資金借入計画書の作成支援を行った。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
中央畜産会 委託費	50,000	50,000

10. 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業 (全国推進事業) 全国実態調査  
(畜産クラスター全国推進事業)

畜産クラスターに係る取り組みを全国で推進するために必要な経営情報を収集するため、県内の先進的な肉用牛経営10戸を対象に経営調査を行い中央畜産会に報告した。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
中央畜産会 委託費	800,000	714,477

11. 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業 (全国推進事業) 改善効果  
(畜産クラスター全国推進事業 (改善効果))

畜産クラスター事業を活用し機械導入した肉用牛経営1戸を対象に導入前後の経営調査を行い、畜産クラスター事業活用の改善効果を検証し中央畜産会に報告した。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
中央畜産会 委託費	142,000	143,800

12. 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業 (機械導入事業)

地域を支える畜産農家の支援のため、各畜産クラスター協議会の策定したクラスター計画に基づき収益性の向上を図るために機械導入事業を推進し、畜産経営の支援を行い、大分県の機械導入事業の窓口業務として、各申請書類を取りまとめた。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
中央畜産会 委託費	3,303,000	2,989,022

	要 望			採 択		
	協議会数	経営体数	機械数	協議会数	経営体数	機械数
H29 第1回	11	55 戸	105 台	9	31 戸	43 台
H29 重点化枠	2	9 戸	24 台	2	9 戸	24 台
H29 第2回	5	23 戸	37 台	5	9 戸	15 台

実施事項	回数	人数	内 容
全国会議	1回	1名	中央畜産会主催の事業説明会

県内説明会	2回	延べ97名	全国会議において説明を受けた内容並びに要望調査の各クラスター協議会、行政、各関係団体に対して県内説明会を行った。
機械導入状況調査 現地確認	3日	4協議会 9取組主体	導入された機械装置の取組主体、リース事業者による検収作業を補完するため、現地確認作業を実施。

1.3. 畜産・酪農生産力強化対策事業（家畜生産性向上対策事業）

（家畜生産性向上対策事業）

酪農経営10戸を対象に家畜生産性に係るデータ収集と、生産性向上のためのデータ分析、技術指導を行った。

区 分	予算額（円）	決算額（円）
中央畜産会 委託費	847,692	757,214

1.4. 国産畜産物安心確保等支援事業（家畜排せつ物利活用推進事業）

（家畜排せつ物利活用推進事業）

堆肥の円滑な流通を図るため、畜産経営（養鶏農家）、耕種農家（営農集団2組織）や関係機関と堆肥の散布方法や堆肥製造技術についての意見交換会（2回）を開催するとともに、堆肥散布時及び散布後の現地調査を行い畜産経営と耕種農家のマッチングを図った。

区 分	予算額（円）	決算額（円）
中央畜産会 委託費	1,250,000	1,248,881

1.5. 農場HACCP認証支援地域強化促進事業

（農場HACCP認証地域取組強化）

農場HACCPへの取組支援等による農場の育成を通じて、農場HACCP認証の広範かつ加速的な普及を図るため、地域での指導體制を整備し、農場HACCPの構築に取り組んだ。併せて、これまでの事業成果で得られたモデル農場における課題の抽出と改善成果を活用し、生産農場での衛生管理システム構築等、農場HACCPの推進を図った。

区 分	予算額（円）	決算額（円）
中央畜産会 委託費	2,702,200	2,211,589

大分県農場HACCP取組状況

農場HACCP認証取得	肉用牛1件、採卵鶏1件、養豚2件
農場HACCP推進取得	肉用牛3件、乳用牛1件、養豚1件、採卵鶏2件



実施事項	回数	人数	内 容
①普及推進協議会	2回	延べ92名	・生産者、行政、関係団体を対象に農場 HACCP 概要、作成演習
②地域取組促進活動	1回	38名	・生産者、行政、関係団体を対象に農場 HACCP の概要・取組事例研修会を開催
③構築指導意見交換	4ヶ所	延べ22名	・各農場 HACCP 取組生産者の効果確認を行い、次年度の課題、目標等の聞き取り
④構築指導事業	延べ47回	8農場	・農場 HACCP 認証取得・維持に向け、講師を派遣し、農場 HACCP 推進会議の開催

#### 16. 畜産農場HACCP認証取得推進事業

農場HACCPへの取り組み支援等による農場の育成を通じて、農場HACCP認証の広範かつ加速的な普及を図るため、地域での指導体制を整備し、農場HACCPの構築に取り組んだ。併せて、農場HACCP推進研修会の開催並びに普及・推進パンフレット等の作成を行った。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
大分県 委託費	438,000	391,568

実施事項	部数 回数	人数 戸数	内 容
①推進研修会開催	1回	54名	・生産者、行政、関係団体に対して農場 HACCP 概要、作成演習
②普及物・推進パンフレット作成	100部 一式	- -	・農場 HACCP 概要、取組事例集の作成 ・農場入場に係る防護服等の購入
③認証農場へのフォローアップ	2ヶ所	延べ68名	・農場 HACCP 認証取得農場に対するフォローアップ

#### 17. 酪農経営体生産性向上緊急対策事業（労働負担軽減事業）

##### （酪農経営体生産性向上事業）

酪農家の「働き方改革」を推進するため、楽酪応援会議の策定した楽酪応援計画に基づき酪農家の労働時間の短縮を図るために労働負担軽減・省力化等に資する機械導入事業を推進し、酪農経営の支援を行い、大分県の機械導入事業の窓口業務として、各申請書類を取りまとめた。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
中央畜産会 委託費	395,618	281,181

No.	酪農応援会議名	参加戸数 (戸)	採択件数
1	大分県酪農酪農応援会議	2	1
	合 計	2	1

18. 養豚経営安定対策補完事業 (平成 29 年度梅雨期豪雨に係る災害緊急支援)

平成 29 年の梅雨期 (6 月 7 日～7 月 27 日) における豪雨及び暴風雨に伴う災害緊急支援のため、養豚経営 1 戸を対象に被害を受けた豚舎、自動給餌機をはじめとした飼養管理の付帯施設・機械を適切に補改修し現状復帰を図るために必要な経費の一部を補助金交付した。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
農畜産業振興機構 補助金	1,942,000	1,942,159

19. 全国優良畜産経営管理技術発表会 (調査事業)

(全国優良畜産経営発表会調査費)

中央畜産会が主催する全国優良畜産経営管理技術発表会に県内の酪農優良経営事例を推薦した。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
中央畜産会 委託費	80,000	80,000

20. 畜産共進会及び畜産フェスタ開催事業

大分県農林水産祭 (第 41 回大分県農業祭) の一環行事である第 78 回大分県畜産共進会 (別府市・大分市・豊後大野市) の開催を支援した。

また、牛肉、豚肉、鶏卵等畜産物の消費拡大を図るため、大分県農林水産祭の一環行事である畜産フェスタの開催を支援した。

(1) 第 78 回大分県畜産共進会の開催

区 分	肉牛の部	種畜の部	
		肉用牛の部	乳用牛の部
開催時期	10 月 7 日	10 月 14 日	10 月 25 日
開催場所	豊後大野市	別府市	大分市
出品家畜	肉牛	肉用牛	乳用牛
出品頭数	50 頭	41 頭	57 頭

(2) 畜産フェスタの開催

区 分	畜産フェスタ
開催時期	10月14日・15日
開催場所	別府市

2.1. 養豚協会、養鶏協会等の活動支援  
(団体事務委託)

経営支援課内に団体支援室を設け各団体の活動支援を行った。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
団体事務委託収入	1,026,000	1,025,080

2.2. 種豚登録業務

大分県養豚協会より業務委託を受け、日本養豚協会の規程に基づき種豚の改良増殖を推進するとともに、養豚経営の生産基盤強化を図るために登録業務を行った。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
登記・登録料	259,200	167,940

主 な 種 別	実施予定頭数	実績頭数
黒豚生産農場認定	1施設	1施設
子豚登記	80頭	69頭
種豚登録	25頭	6頭
系統種豚登録	10頭	0頭

2.3. 情報活動事業

中央並びに県内における畜産に関する資料を収集し、関係者に対し情報提供を行うとともに、中央畜産会が発刊する畜産コンサルタント誌・経営情報など参考資料等の斡旋を積極的に行なった。

また、ホームページでは、畜産コンサルタント、経営相談窓口、資金制度、価格安定制度、衛生情報、補助事業等の情報提供を行った。

## (価格安定課)

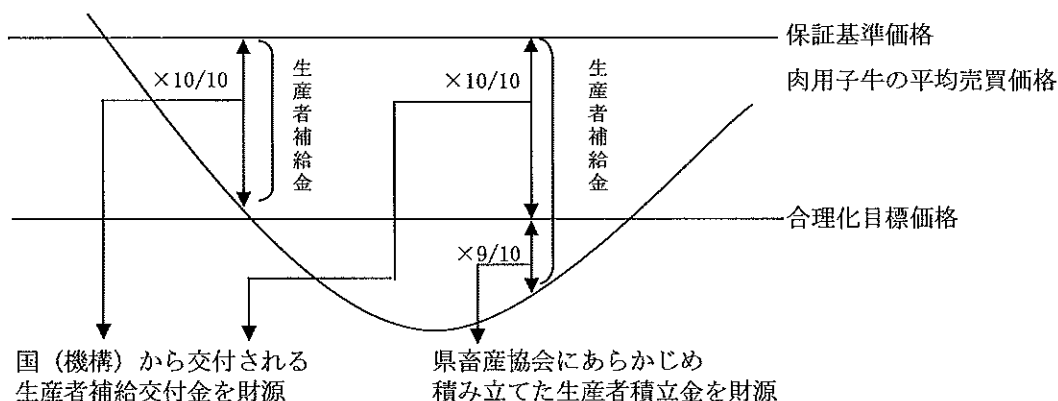
### 1. 肉用子牛生産者補給金制度 (業務対象年間：平成27年度～平成31年度)

平成29年1月～12月の年間通して全ての品種で子牛販売価格が高値で推移したため生産者補給金の発動はなかった。

#### <制度の仕組み>

肉用子牛の価格が低落し、保証基準価格を下回った場合に、生産者に対し生産者補給金を交付し、肉用子牛生産の安定等を図ることを目的としている。

具体的には、四半期毎に農林水産大臣が告示する肉用子牛の平均売買価格が保証基準価格を下回った場合に、その期間中に販売、又は自家保留した肉用子牛に対し生産者補給金を交付する。



#### (1) 生産者補給金交付契約締結状況

(単位：人)

契約区分	契約者数			備考
	27年度	28年度	29年度	
個人	1,206	1,215	1,217	
農協	-	-	-	
農協連	-	-	-	
農事組合法人	3	3	3	
株式会社	5	6	7	
有限会社	12	12	12	
民法法人	-	-	-	
合計	1,226	1,236	1,239	

#### (2) 事務委託契約締結状況

(単位：件)

事務委託先	事務委託先数			備考
	27年度	28年度	29年度	
J A 農協	5	5	5	
専門農協	2	2	2	県酪、熊本
農協連	1	1	1	全農大分県本部
その他	1	1	1	配合飼料基金
合計	9	9	9	

(3) 契約肉用子牛個体登録頭数の内訳

(単位：頭)

区分 品種区分	平成29年度					備考
	1月1日～ 3月31日	4月1日～ 6月30日	7月1日～ 9月30日	10月1日～ 12月31日	1月～12月 合計	
黒毛和種	2,783	2,668	2,765	2,886	11,102	
褐毛和種	3	1	1	5	10	
乳用種の品種	835	925	476	162	2,398	
肉専用種と乳用種の交雑の品種	377	298	239	241	1,155	
合計	3,998	3,892	3,481	3,294	14,665	

(4) 保証基準価格と合理化目標価格

(単位：円)

品種区分	保証基準価格	合理化目標価格	備考
黒毛和種	339,000	282,000	
褐毛和種	309,000	259,000	
黒毛和種及び褐毛和種以外の肉専用種の品種	221,000	150,000	日本短角種等
乳用種の品種	136,000	93,000	
肉専用種と乳用種の交雑の品種	210,000	152,000	

(5) 指定肉用子牛の規格

肉用子牛の種別	体 重	
黒毛和種	250キログラム以上	320キログラム以下
褐毛和種	260キログラム以上	330キログラム以下
無角和種	200キログラム以上	270キログラム以下
日本短角種	200キログラム以上	280キログラム以下
アンガス種及びヘレフォード種	260キログラム以上	310キログラム以下
ホルスタイン種(雌を除く)	250キログラム以上	330キログラム以下
ホルスタイン種を母とする交雑種	260キログラム以上	320キログラム以下

(6) 平均売買価格

(単位：円)

区分 品種区分	黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種
平成29年1月1日～3月31日	851,400	777,600	360,200	213,800	419,300
平成29年4月1日～6月30日	809,400	724,200	356,900	214,300	396,700
平成29年7月1日～9月30日	754,800	691,300	228,500	236,300	361,100
平成29年10月1日～12月31日	773,400	687,100	238,200	252,100	390,000

## (7) 契約肉用子牛1頭当たりの負担金 (生産者積立金の額)

(単位:円)

区分	生産者積立金	負担区分		
		機構(1/2)	大分県(1/4)	生産者(1/4)
黒毛和種	1,200	600	300	300
褐毛和種	4,600	2,300	1,150	1,150
黒毛和種及び褐毛和種 以外の肉専用種の品種	12,400	6,200	3,100	3,100
乳用種の品種	6,400	3,200	1,600	1,600
肉専用種と乳用種の 交雑の品種	2,400	1,200	600	600

## (8) 生産者積立金造成内訳

(単位:頭、円)

品 種	区分	契約頭数	積立単価	積立所要額	負担区分		
					機構(1/2)	大分県(1/4)	生産者(1/4)
黒毛和種	継 続	10,870	1,200	13,044,000	6,522,000	3,261,000	3,261,000
	新 規	232	1,200	278,400	139,200	69,600	69,600
	計	11,102	-	13,322,400	6,661,200	3,330,600	3,330,600
褐毛和種	継 続	10	4,600	46,000	23,000	11,500	11,500
	新 規	0	4,600	0	0	0	0
	計	10	-	46,000	23,000	11,500	11,500
乳用種の品種	継 続	0	6,400	0	0	0	0
	新 規	2,398	6,400	15,347,200	7,673,600	3,836,800	3,836,800
	計	2,398	-	15,347,200	7,673,600	3,836,800	3,836,800
肉専用種と乳用種 の交雑の品種	継 続	1,148	2,400	2,755,200	1,377,600	688,800	688,800
	新 規	7	2,400	16,800	8,400	4,200	4,200
	計	1,155	-	2,772,000	1,386,000	693,000	693,000
計	継 続	12,028	-	15,845,200	7,922,600	3,961,300	3,961,300
	新 規	2,637	-	15,642,400	7,821,200	3,910,600	3,910,600
	計	14,665	-	31,487,600	15,743,800	7,871,900	7,871,900

## (9) 生産者積立金及び生産者積立準備金造成状況 (平成30年3月31日現在)

(単位:円)

区分		保証基準価格の品種区分	黒毛和種	褐毛和種	乳用種	交雑種	計	
I 期 首 残 高	(1)	生産者積立金	32,116,383	94,718	43,106,298	7,805,203	83,122,602	
	(2)	生産者積立準備金	206,329,301	0	0	0	206,329,301	
	内 訳	(3)	生産者の負担金充当分	66,748,014	-	-	-	66,748,014
		(4)	県の生産者積立助成金充当分	139,581,287	-	-	-	139,581,287
		(5)	機構の生産者積立助成金充当分	0	-	-	-	0
II 生 産 者 積 立 金 積 立 実 績	(6)	生産者積立金純増加額 (9)+(12)+(15)+(18)	6,730,800	23,000	11,510,400	1,390,200	19,654,400	
	(7)	生産者積立準備金からの繰入額 (10)+(13)+(16)	6,591,600	23,000	3,836,800	1,381,800	11,833,200	
	(8)	計	13,322,400	46,000	15,347,200	2,772,000	31,467,600	
	内 生 産 者	(9)	負担金	69,600	0	3,836,800	4,200	3,910,600
		(10)	生産者積立準備金(3)からの繰入	3,261,000	11,500	0	688,800	3,961,300
		(11)	小計	3,330,600	11,500	3,836,800	693,000	7,871,900
	内 県	(12)	生産者積立助成金	0	0	0	0	0
		(13)	生産者積立助成金(4)からの繰入	3,330,600	11,500	3,836,800	693,000	7,871,900
		(14)	小計	3,330,600	11,500	3,836,800	693,000	7,871,900
	内 機 構	(15)	生産者積立助成金	6,661,200	23,000	7,673,600	1,386,000	15,743,800
		(16)	生産者積立助成金(5)からの繰入	0	0	0	0	0
		(17)	小計	6,661,200	23,000	7,673,600	1,386,000	15,743,800
	内 そ 他	(18)	生産者積立金とすることを指定して寄付又は補助された財産	0	0	0	0	0
	III 他 の 資 金 か 繰 ら 入 の 状 態	(19)	特別の積立金から生産者積立金への繰入金額	0	0	0	0	0
		(20)	償還円滑化積立金から生産者積立金への繰入金額	0	0	0	0	0
		(21)	生産者補給金に充てるための全国協会等からの借入金額	0	0	0	0	0
		(22)	生産者積立金に係る運用果実	8,054	11	10,814	1,955	20,834
		(23)	生産者補給金交付額(21)を含む	0	0	0	0	0
(24)		生産者積立金から借入金返済額	0	0	0	0	0	
(25)		生産者分生産者積立準備金に係る運用果実	15,654	0	0	0	15,654	
(26)		県分生産者積立準備金に係る運用果実	32,823	0	0	0	32,823	
(27)		機構分生産者積立準備金返還金	0	0	0	0	0	
(28)	生産者分生産者積立準備金返還金	117,651	0	0	0	117,651		
(29)	償還円滑化積立金から生産者積立準備金への繰入額	0	0	0	0	0		
IV 期 末 残 高	(30)	生産者積立金 (1)+(8)+(19)+(20)+(21)+(22)-(23)-(24)	45,446,837	140,729	58,464,312	10,579,158	114,631,036	
	(31)	生産者積立準備金 (32)+(33)+(34)	194,426,927	0	0	0	194,426,927	
	内 訳	(32)	生産者の負担金充当分 ※計の欄 (3)-(10)+(25)-(28)	62,684,717	-	-	-	62,684,717
		(33)	県の生産者積立助成金充当分 ※計の欄 (4)-(13)+(26)	131,742,210	-	-	-	131,742,210
(34)	機構の生産者積立助成金充当分 ※計の欄 (5)-(16)-(27)	0	-	-	-	0		

(10) 生産者補給金交付状況

1) 生産者補給金 (機構、県協会合計分)

(単位: 円、頭、人)

区 分			保証基準価格の品種区分		黒毛和種	褐毛和種	乳用種	乳交雑種	合 計
平成 28 年 度	第 4 四 半 期	平成29年 1月1日 ~	交付対象	販 売	-	-	-	-	-
			頭数 ①	保 留	-	-	-	-	-
				合 計	-	-	-	-	-
		平成29年 3月31日	② 生産者補給金単価	-	-	-	-	-	
			③ 生産者補給金交付額 (①×②)	-	-	-	-	-	
交付対象生産者数			-	-	-	-	-	-	
平成 30 年 度	第 1 四 半 期	平成29年 4月1日 ~	交付対象	販 売	-	-	-	-	-
			頭数 ①	保 留	-	-	-	-	-
				合 計	-	-	-	-	-
		平成29年 6月30日	② 生産者補給金単価	-	-	-	-	-	
			③ 生産者補給金交付額 (①×②)	-	-	-	-	-	
	交付対象生産者数			-	-	-	-	-	
	第 2 四 半 期	平成29年 7月1日 ~	交付対象	販 売	-	-	-	-	-
			頭数 ①	保 留	-	-	-	-	-
				合 計	-	-	-	-	-
		平成29年 9月30日	② 生産者補給金単価	-	-	-	-	-	
			③ 生産者補給金交付額 (①×②)	-	-	-	-	-	
	交付対象生産者数			-	-	-	-	-	
第 3 四 半 期	平成29年 10月1日 ~	交付対象	販 売	-	-	-	-	-	
		頭数 ①	保 留	-	-	-	-	-	
			合 計	-	-	-	-	-	
	平成29年 12月31日	② 生産者補給金単価	-	-	-	-	-		
		③ 生産者補給金交付額 (①×②)	-	-	-	-	-		
交付対象生産者数			-	-	-	-	-		
合 計			交付対象	販 売	-	-	-	-	-
			頭数 ①	保 留	-	-	-	-	-
				合 計	-	-	-	-	-
			② 生産者補給金単価			-	-	-	-
			③ 生産者補給金交付額 (①×②)			-	-	-	-
交付対象生産者数			-	-	-	-	-		



## 2. 肉用牛繁殖経営支援事業

平成28年度第4四半期～平成29年度第3四半期の支援交付金の発動はなかった。

### (1) 交付基準

肉用子牛生産者補給金制度を補完し、四半期毎の平均売買価格が発動基準を下回った場合に、当該四半期に販売又は自家保留された肉用子牛を対象として、発動基準を下回った額の4分の3に相当する額の支援交付金が交付される。

### (2) 発動基準価格 (平成28年度第4四半期) (単位：円)

品種	保証基準価格	発動基準	平均売買価格
黒毛和種	337,000	450,000	851,400
褐毛和種	307,000	410,000	777,600
その他の肉専用種	220,000	290,000	360,200

### (平成29年度第1四半期以降) (単位：円)

品種	保証基準価格	発動基準	平均売買価格		
			1期	2期	3期
黒毛和種	339,000	460,000	809,400	754,800	773,400
褐毛和種	309,000	420,000	724,200	691,300	687,100
その他の肉専用種	221,000	300,000	356,900	228,500	238,200

### 3. 肉用牛肥育経営安定特別対策事業（業務対象年間：平成28年度～平成30年度）

本年度における交付実績は、8,435頭に対して367,368,900円であった。全品種について補填金が発動し、肉専用種は平成29年7月から2,787頭に対して106,775,300円、交雑種については、3,150頭に対して162,475,100円、乳用種については、2,498頭に対して98,118,500円の交付を行った。

#### (1) 交付基準

肉用牛肥育経営の安定を図るため、粗収益が生産コストを下回った場合に、生産者の拠出と国の補助により造成された基金から粗収益と生産費との差額の8割を補填する。本来この事業は四半期毎の交付だが、平成23年7月以降月毎の交付となっている。さらに平成26年4月以降は概算払方式となっている。

#### (2) 1頭当たり基金造成額の内訳

(単位：頭)

区分	1頭当たり造成額 (負担割合)		負担区分		
			生産者	大分県	農畜産業振興機構
			1/4		3/4
		定額	定額		
肉専用種	29年3月以前	52,000	12,250	750	39,000
	29年4月以降	52,000	12,250	750	39,000
交雑種	29年3月以前	100,000	24,170	830	75,000
	29年4月以降	76,000	18,170	830	57,000
乳用種	29年3月以前	104,000	25,470	530	78,000
	29年4月以降	88,000	21,470	530	66,000

#### (3) 積立頭数の内訳

(単位：頭)

区分	29年				30年	計
	2月1日～ 3月31日	4月1日～ 6月30日	7月1日～ 9月30日	10月1日～ 12月31日	1月1日～ 1月31日	
肉専用種	884	1,365	1,371	1,487	400	5,507
交雑種	491	841	787	808	254	3,181
乳用種	388	631	589	543	268	2,419
計	1,763	2,837	2,747	2,838	922	11,107

#### (4) 肥育安定基金の造成状況

(単位：円)

区分			肉専用種	交雑種	乳用種	合計	
期首残高			339,555,462	363,769,787	201,844,598	905,169,847	
増 加	積 立 金	農畜産業振興機構	214,773,000	190,479,000	164,310,000	569,562,000	
		大分県	補助金	3,304,200	2,112,184	1,025,656	6,442,040
			準備金	826,050	528,046	256,414	1,610,510
		生産者	67,460,750	60,852,770	53,487,930	181,801,450	
	計	286,364,000	253,972,000	219,080,000	759,416,000		
運用益		85,166	91,121	50,700	226,987		
小計			286,449,166	254,063,121	219,130,700	759,642,987	
減 少	肥育牛補填金		106,775,300	162,475,100	98,118,500	367,368,900	
	小計		106,775,300	162,475,100	98,118,500	367,368,900	
期末残高			519,229,328	455,357,808	322,856,798	1,297,443,934	

## (5) 補填金単価算定結果

(単位：円)

区 分		29年					
		1月	2月	3月	4月	5月	6月
肉専用種	平均粗収益(A)	1,236,343	1,141,690	1,140,442	1,219,304	1,110,672	1,122,288
	平均生産費(B)	1,070,537	1,068,976	1,067,618	1,092,577	1,091,315	1,090,266
	差額(C) = (A) - (B)	165,806	72,714	72,824	126,727	19,357	32,022
	補填金単価 = (C) × 0.8	-	-	-	-	-	-
交雑種	平均粗収益(A)	759,703	713,049	705,404	726,120	682,524	673,624
	平均生産費(B)	746,847	751,548	754,234	739,681	742,951	744,489
	差額(C) = (A) - (B)	12,856	△ 38,499	△ 48,830	△ 13,561	△ 60,427	△ 70,865
	補填金単価 = (C) × 0.8	-	30,700	39,000	10,800	48,300	56,600
乳用種	平均粗収益(A)	440,080	436,013	431,082	436,253	438,429	442,710
	平均生産費(B)	530,280	530,045	519,522	505,377	488,364	491,999
	差額(C) = (A) - (B)	△ 90,200	△ 94,032	△ 88,440	△ 69,124	△ 49,935	△ 49,289
	補填金単価 = (C) × 0.8	3,800	75,200	70,700	55,200	39,900	39,400

区 分		29年						30年
		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
肉専用種	平均粗収益(A)	1,127,910	1,117,981	1,062,506	1,160,469	1,169,592	1,232,256	1,112,403
	平均生産費(B)	1,143,365	1,142,498	1,141,716	1,210,713	1,209,744	1,209,652	1,207,606
	差額(C) = (A) - (B)	△ 15,455	△ 24,517	△ 79,210	△ 50,244	△ 40,152	22,604	△ 95,203
	補填金単価 = (C) × 0.8	12,300	19,600	63,300	40,100	32,100	-	76,100
交雑種	平均粗収益(A)	673,808	659,930	652,615	649,890	666,568	712,200	659,930
	平均生産費(B)	754,430	761,206	744,588	740,775	741,668	749,729	761,469
	差額(C) = (A) - (B)	△ 80,622	△ 101,276	△ 91,973	△ 90,885	△ 75,100	△ 37,529	△ 101,539
	補填金単価 = (C) × 0.8	64,400	81,000	73,500	72,700	60,000	30,000	77,200
乳用種	平均粗収益(A)	439,505	437,196	434,893	439,411	440,975	438,443	437,196
	平均生産費(B)	489,443	494,630	483,959	483,600	470,461	465,037	494,837
	差額(C) = (A) - (B)	△ 49,938	△ 57,434	△ 49,066	△ 44,189	△ 29,486	△ 26,594	△ 57,641
	補填金単価 = (C) × 0.8	39,900	45,900	39,200	35,300	23,500	21,200	42,100

※肉専用種については、地域算定により算出している。

※交雑種、乳用種については全国算定により算出している。

※補填金単価について

H29. 1月分は精算払単価

H29. 2月～12月分は確定単価

H30. 1月分は概算払単価

(6) 肥育牛補填金交付実績総括表

区分	品種区分		交付対象者数 (人)	交付対象頭数 (頭) ①	補填金額	
					②単価 (円/頭)	③交付額 (①×②) (円)
平成29年 1月期 (精算金額)	肉専用種	通常	-	0	0	0
	交雑種	通常	-	0	0	0
	乳用種	通常	-	164	3,800	623,200
		免除牛	-	1	2,800	2,800
	計		9	165		626,000
平成29年 2月期 (確定金額)	肉専用種	通常	-	0	0	0
	交雑種	通常	-	257	30,700	7,889,900
	乳用種	通常	-	140	75,200	10,528,000
	計		17	397		18,417,900
平成29年 3月期 (確定金額)	肉専用種	通常	-	0	0	0
	交雑種	通常	-	202	39,000	7,878,000
	乳用種	通常	-	214	70,700	15,129,800
		免除牛	-	2	53,000	106,000
計		18	418		23,113,800	
平成29年 4月期 (確定金額)	肉専用種	通常	-	0	0	0
	交雑種	通常	-	274	10,800	2,959,200
	乳用種	通常	-	153	55,200	8,445,600
	計		18	427		11,404,800
平成29年 5月期 (確定金額)	肉専用種	通常	-	0	0	0
	交雑種	通常	-	218	48,300	10,529,400
	乳用種	通常	-	202	39,900	8,059,800
	計		19	420		18,589,200
平成29年 6月期 (確定金額)	肉専用種	通常	-	0	0	0
	交雑種	通常	-	252	56,600	14,263,200
	乳用種	通常	-	193	39,400	7,604,200
	計		19	445		21,867,400
平成29年 7月期 (確定金額)	肉専用種	通常	-	506	12,300	6,223,800
	交雑種	通常	-	303	64,400	19,513,200
	乳用種	通常	-	176	39,900	7,022,400
	計		55	985		32,759,400
平成29年 8月期 (確定金額)	肉専用種	通常	-	494	19,600	9,682,400
	交雑種	通常	-	276	81,000	22,356,000
	乳用種	通常	-	201	45,900	9,225,900
	計		54	971		41,264,300
平成29年 9月期 (確定金額)	肉専用種	通常	-	457	63,300	28,928,100
	交雑種	通常	-	261	73,500	19,183,500
	乳用種	通常	-	279	39,200	10,936,800
	計		52	997		59,048,400
平成29年 10月期 (確定金額)	肉専用種	通常	-	376	40,100	15,077,600
	交雑種	通常	-	294	72,700	21,373,800
	乳用種	通常	-	207	35,300	7,307,100
	計		57	877		43,758,500
平成29年 11月期 (確定金額)	肉専用種	通常	-	548	32,100	17,590,800
	交雑種	通常	-	271	60,000	16,260,000
	乳用種	通常	-	183	23,500	4,300,500
	計		46	1,002		38,151,300
平成29年 12月期 (確定金額)	肉専用種	通常	-	0	0	0
	交雑種	通常	-	293	30,000	8,790,000
	乳用種	通常	-	197	21,200	4,176,400
	計		20	490		12,966,400
平成30年 1月期 (概算金額)	肉専用種	通常	-	406	72,100	29,272,600
	交雑種	通常	-	249	46,100	11,478,900
	乳用種	通常	-	186	25,000	4,650,000
	計		51	841		45,401,500
合計	肉専用種		-	2,787	-	106,775,300
	交雑種		-	3,150	-	162,475,100
	乳用種		-	2,498	-	98,118,500
	計		435	8,435		367,368,900

※合計の交付対象者数は延べ人数である。

※平成26年度から補填金の概算払いが実施されており、四半期ごとに精算される。

29年1月分は精算払額、29年2月～12月分は確定金額、30年1月分は概算金額となっている。

※免除とは、熊本・大分地震により生産者積立金のうち生産者負担分(県分含む)について納付免除を行った牛については補填金単価は3/4となっている。

4. 大分県肉豚価格安定対策事業（業務対象年間：平成27年度～平成29年度）

独立行政法人 農畜産業振興機構が実施する養豚経営安定対策事業（平成27年度～29年度まで：直接交付方式）に参加する県内の養豚生産者が積み立てする生産者負担金の一部を補助する事業を実施した。（県費補助金は、畜産協会より四半期毎に農畜産業振興機構の養豚基金に積み立てする。）

(1) 生産者負担金単価 (円/頭)

区 分	生産者負担金単価		
		内 県補助金	内 生産者負担分
第1四半期～第4四半期	700	100	600

(2) 事業対象頭数 231,812頭

(3) 肉豚補てん準備金造成状況 (単位：円)

区 分		金 額	備 考
期 首 残 高		52,344,612	前期繰越金
増加	運用益	11,214	
	小 計	11,214	
減少	養豚基金負担金支出	11,590,600	
	小 計	11,590,600	
期 末 残 高		40,765,226	

(4) 肉豚補てん積立金造成状況 (単位：円)

区 分		金 額	備 考
期 首 残 高		0	
増加	県生産者積立金補助金収入	11,590,600	
	小 計	11,590,600	
減少	養豚基金負担金支出	11,590,600	
	小 計	11,590,600	
期 末 残 高		0	

## 5. その他協会の目的を達成するために必要な事業

### (1) 肉用子牛生産者補給金制度運営適正化事業

- 1) 生産者補給金交付契約を締結した生産者の個体識別及び個体登録、保留確認、生産者に対する啓発指導及び業務の適正な実施等を図るため、全国統一電算事務処理システムによる報告を行う。また、家畜市場での取引情報を収集し、機構へ報告した。
- 2) 当制度の適正な実施体制を図るため事務委託先及び契約生産者を対象に肉用子牛生産者補給金制度等に係る交付契約の内容、手続き等についての点検、調査、指導を行った。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
農畜産業振興機構 補助金	13,844,000	12,850,023

### (2) 指定協会運営体制支援事業

肉用子牛生産者補給金制度の円滑な実施を図るため運営体制の強化を図った。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
農畜産業振興機構 補助金	5,167,000	5,167,000

### (3) 肉用牛繁殖経営地域推進事業

事業の円滑な推進を図るため、推進会議開催、調査指導を行った。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
農畜産業振興機構 補助金	3,952,530	3,679,027

### (4) 肉用牛肥育経営安定特別対策事業 (肥育経営安定推進)

事業の円滑な実施を図るため、推進会議開催、調査指導を行うとともに、補填金の円滑な交付に努めた。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
農畜産業振興機構 補助金	7,083,400	6,860,952

### (5) 養豚経営安定対策事業に係る業務委託事業

農畜産業振興機構が直接方式で実施する養豚経営安定対策事業の円滑な実施を図るため、事業内容の周知や手続きに関する説明会の開催及び参加する生産者からの相談業務等を行った。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
農畜産業振興機構 委託費	467,110	451,776

6. 業務実施事項

(1) 業務運営基金 (平成30年3月31日現在)

(単位：千円)

摘 要		会員数	子牛	肉豚	計
寄託金					
	大 分 県	1	100,000	-	100,000
	市 町 村	18	15,580	-	15,580
	農 協	5	52,150	4,160	56,310
農 協 連	中 央 会	1	10	-	10
	県 信 連	1	7,660	2,000	9,660
	全 農 大 分 県 本 部	1	26,260	7,510	33,770
	全 国 共 済 連	1	3,830	1,500	5,330
	畜 産 公 社	1	-	100	100
	配 合 飼 料 基 金	1	100	510	610
	県 酪 農 協	1	5,000	-	5,000
	ｼﾞｬｲｲ北九州くみあい飼料(株)	1	-	500	500
計		32	210,590	16,280	226,870
補助金					
	全国肉用牛振興基金協会	-	12,000	-	12,000
計			12,000		12,000

(2) 基本財産 (平成30年3月31日現在)

(単位：千円)

摘 要		子牛	肉豚	計
特別の積立金より繰入		200,000	-	200,000
合 計		200,000		200,000

(3) 長期預け金

(単位：千円)

区 分	前年度末現在	当 期		当年度末
		増加額	減少額	
全 国 肉 用 牛 振 興 基 金 協 会	6,600	0	0	6,600

## (家畜衛生課)

### 1. 家畜生産農場清浄化支援対策事業

ヨーネ病等の防疫対策、牛白血病の感染拡大防止対策、BVD-MD 清浄化対策及び吸血昆虫媒介疾病の発生・流行防止対策を推進し、また、農場自らが飼養衛生管理の向上に取り組むための支援を行うことにより家畜の損耗防止を図った。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
国庫補助金	5,956,000	5,237,498
事業収入 (ヨーネ病自己資金)	68,000	68,040

#### (1) ヨーネ病早期清浄化のための防疫対策

ヨーネ病自主検査

ヨーネ病細菌培養等検査 (糞便の細菌培養)

家畜保健衛生所へ検査依頼頭数 367 頭

#### (2) 牛白血病の感染拡大防止対策

牛白血病の感染拡大防止を図るため講習会を開催し、生産者を含め関係機関や団体等が一体となった感染予防対策の推進を行った。

講習会の開催

開催日：平成 30 年 3 月 13 日

1) 演 題：「と畜場における牛白血病の発生状況」

講 師：大分県食肉衛生検査所 所長 小林貴廣 氏

2) 演 題：「牛白血病の基礎と農場や地域における対策例」

講 師：宮崎大学テニユアトラック推進機構

産業動物防疫学分野 助教 目堅博久 氏

3) 演 題：「豊後大野家保の牛白血病清浄化対策と

宮崎大学防疫リサーチセンターとの共同研究の取組」

講 師：豊後大野家畜保健衛生所 技師 林 拓己 氏

#### (3) BVD-MD 清浄化対策

BVD-MD の清浄化を図るため講習会を開催し、生産者を含め関係機関や団体等が一体となった感染予防対策の推進を行った。

講習会の開催

開催日：平成 29 年 12 月 5 日

演 題：「牛ウイルス性下痢病 (BVD) の現状と今後の挑戦」

講 師：北海道大学獣医学部

微生物学教室 教授 迫田義博 氏

#### (4) 農場飼養衛生管理強化対策

農場飼養衛生管理向上のための指導体制を確立し、生産者自らが飼養衛生管理の向上に取り組むための支援を行うことにより家畜の損耗防止を図った。

・ 検討会の開催 1 回

・ 指導農場 337 戸 (延べ戸数 412 戸)

#### (5) 疾病発生流行防止支援対策

吸血昆虫媒介疾病のワクチンを接種することで牛の疾病発生・流行防止を推進し、家畜の損耗防止を図った。



## 2. 死亡牛緊急検査処理円滑化推進事業

死亡牛の円滑な収集、輸送、並びに適正な処理をすることにより、BSE検査の円滑な実施と良好な家畜衛生及び環境の維持を図った。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
国庫補助金	9,650,000	9,615,066

### (1) 死亡牛検査処理安定化対策

輸送費及び化製処理費に対する補助

〔補助対象頭数及び助成金額〕

	第1・四半期	第2・四半期	第3・四半期	第4・四半期	H29年度合計
48ヶ月齢以上 (頭)	129	183	155	185	652
助成金額 (円)	1,472,500	2,088,500	1,774,500	2,112,500	7,448,000

## 3. 獣医療提供体制整備推進総合対策事業

産業動物診療や家畜防疫体制を強化・維持するため県と連携し、本県での就業を希望する獣医系学生に対する修学資金の給付を行った。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
国庫補助金	2,400,000	2,334,685

本年度対象学生 : 3名 (国 1/2 大分県 1/2)

## 4. 大分県獣医師確保対策事業

産業動物診療や家畜防疫体制を強化・維持するため、本県での就業を希望する獣医系学生に対する修学資金の給付やインターンシップ研修を実施し、必要とする獣医師の安定確保に努めた。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
大分県 補助金	6,621,000	6,620,500
大分県 委託費	474,000	474,000

給付対象学生 : 3名 (国 1/2 大分県 1/2)

4名 (県)

合計 7名

インターンシップ研修を受けた学生 : 1名 (県)

## 5. 家畜防疫互助基金支援事業

口蹄疫や豚コレラ等の海外悪性伝染病が万一発生した場合、損害を互助補償し畜産経営への影響を緩和するため、生産者が行う積立を支援することにより畜産経営の安定的発展に努めた。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
農畜産業振興機構 補助金	2,000,000	1,988,600

(1) 家畜防疫互助等推進事業

推進会議の開催、生産者・関係団体等に対する事業の普及、指導、連絡調整等

(2) 家畜防疫互助事業

契約状況一覧

契約戸数 (戸)		家畜の種類	契約頭数 (頭)	積立金額 (円)
乳用牛・肉用牛	1,263	・乳用牛 (24ヶ月齢以上)	9,128	2,145,080
		・乳用牛 (24ヶ月齢未満)	3,837	364,515
		・肉専用繁殖雌 (24ヶ月齢以上)	15,628	3,516,300
		・肉専用繁殖雌 (24ヶ月齢未満) 及び肉専用肥育牛	21,703	2,387,330
		・交雑種	6,864	720,720
		・乳用種肥育牛	5,346	507,870
		計	62,506	9,641,815
豚	家族型 13	・繁殖用種豚 (雌)	873	104,760
		・ " (雄)	49	5,880
		・肥育豚	9,030	270,900
	小計		9,952	381,540
	企業型 20	・繁殖用種豚 (雌)	10,034	1,254,250
・ " (雄)		358	44,750	
・肥育豚		110,390	3,863,650	
小計		120,782	5,162,650	
計		130,734	5,544,190	
合 計				15,186,005

6. 自衛防疫推進事業

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
大分県 補助金	174,000	174,000

(1) 推進会議の開催

開催年月日	会議の名称	開催場所
H30.1.26	予防注射事業標準対価表検討会	大分家畜保健衛生所
H30.1.26	牛病部会	大分家畜保健衛生所
H30.3.8	家畜衛生専門委員会	大分県庁

(2) 調査資料の作成

対象農家	戸数
養豚農家	42 戸
養鶏農家	112 戸
計	154 戸

(3) 広報活動

- ・緊急連絡ボード (生産者向け) 1,300 部
- ・衛生管理チェック用バインダーケース (獣医師向け) 70 冊

7. 死亡牛適正処理促進事業

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
大分県 補助金	898,000	779,579
事業収入 (自己資金)	898,000	779,579

- (1) 施設運営費 . . . コンテナ維持管理電気料  
 任意労災保険  
 フォークリフト年次・月次検査手数料
- } 1/2 補助

8. 馬飼養衛生管理特別対策事業

馬の飼養衛生について馬飼養者及び関係団体を組織化し、計画的に事業を実施、浸透させることにより、馬飼養衛生管理体制の総合的な整備と馬産の振興に資するための指導を行った。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
中央畜産会 委託費	608,000	566,971

- (1) 地域馬飼養衛生管理体制整備委員会の開催  
 平成 29 年 12 月 12 日
- (2) 馬飼養衛生管理技術地方講習会の開催  
 平成 29 年 12 月 12 日開催  
 演題：「馬の皮膚病の診断・治療・予防について」  
 講師：JRA 日本中央競馬会 馬事部防疫課 岡野 篤 氏
- (3) 地域馬獣医療実態調査  
 調査戸数 20 戸

9. 衛生体制強化基金事業 (自衛防疫思想普及事業)

飼養衛生管理基準の啓発等を目的として啓発資料を作成・配布し、自衛防疫意識の高揚を図った。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
中央畜産会 委託費	83,000	83,000

- ・市場日程表へ予防注射及び消毒の励行を掲載 2,500 部
- ・生産者向け「衛生記録手帳」 200 部

10. 自衛防疫体制強化推進事業

伝染性疾病発生時の防疫対応等が出来るよう、生産者段階での防疫演習等を実施した。また特定悪性慢性感染症の防疫措置の基礎となる家畜の飼養衛生管理基準の徹底・啓発を行い、地域自衛防疫体制の強化・定着を図った。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
家畜衛生対策推進協議会委託費	1,826,000	1,761,943

(1) 防疫演習実施等

開催年月日	開催場所	参加者数	備考
H29.10.18	豊後北部家畜市場	430名	県主催
H30.2.19	くすまちメルサンホール	76名	肉用牛生産者対象
H30.2.21	豊後大野市神楽会館	168名	肉用牛生産者対象

1.1. 馬伝染性疾病防疫推進対策事業

地域における自主防疫活動の強化を図るため、競走馬以外の馬に対する馬インフルエンザワクチン接種の推進及び馬飼養衛生状況等の知識の普及啓発等の取り組みを行った。

区分	予算額(円)	決算額(円)
中央畜産会 委託費	521,000	426,140

(1) 馬ワクチン接種等地域推進対策検討会の開催

平成29年12月12日

(2) 馬インフルエンザ予防接種頭数 48頭

1.2. 野生獣衛生体制整備推進確立対策事業

野生獣による伝染病の伝播拡散を防止するため、中山間地域における野生獣の衛生実態調査を行い、家畜衛生関係者を中心とした畜産分野への情報発信体制を地域に構築・整備をした。

区分	予算額(円)	決算額(円)
家畜衛生対策推進協議会委託費	3,557,000	3,317,750

(1) 地域衛生技術連絡協議会の開催(年3回)

第1回 平成29年7月18日

第2回 平成29年12月5日

・講習会 演題:「家畜と野生獣との関係・野生鳥獣肉の現状」

講師: 里山・鳥獣・ジビエ支援センター代表 小谷浩治氏

第3回 平成30年3月6日

(2) 野生獣の衛生実態調査及び家畜疾病モニタリング

イノシシ 46頭 (検査項目 オーエスキー病・日本脳炎・PRRS・豚コレラ・PED)

シカ 25頭 (検査項目 パラインフルエンザⅢ・牛RS・イボ病・IBR)

1.3. 飼養衛生管理基準等緊急啓発促進事業

飼養衛生管理基準の見直しに伴い、迅速かつ的確に普及啓発をするための説明会の開催計画を検討するとともに、地域の実態等に応じた啓発普及説明会を開催した。

区分	予算額(円)	決算額(円)
中央畜産会 委託費	858,000	743,255

(1) 地域啓発普及促進委員会の開催

平成 29 年 12 月 12 日

(2) 説明会の開催

開催年月日	開催場所	参加者数	備考
H29. 6. 5	別府市 養鶏団体連絡協議会研修会	62名	
H29. 6. 9	大分市 養豚協会研修会	64名	
H29. 7. 3	大分市 豊後牛生産者組織連絡協議会総会研修会	146名	
H29. 11. 24	大分市 養豚協会研修会	57名	
H29. 11. 28	別府市 養鶏団体連絡協議会研修会	54名	
H29. 12. 12	大分市 馬飼養衛生委員会	20名	
H30. 2. 19	玖珠町 日田玖珠地域畜産研修会	76名	
H30. 2. 21	豊後大野市 肉用牛振興大会	174名	

1 4. 牛せき柱適正管理等推進事業

化製業者との間において、牛せき柱分別供給契約を締結した上で、牛せき柱を適正に管理し、適正管理の確認や作業者に対する指導・監督等を行う責任者を設置するとともに、研修会を自ら実施した食肉事業者に対し交付される促進費の交付事務に関する手続きを行った。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
畜産副産物協会 委託費	200,000	212,713

事業対象食肉業者 1社

1 5. 特定疾病予防接種推進事業

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
事業収入	66,403,000	66,995,837

国庫補助事業・協会単独事業実績

牛疾病

(単位:頭)

協議会名	牛六混	牛五混	イバラキ	流行熱	流行熱・イバラキ	異常産三混	ヘモフィルス
県中央	1,053	0	1,053	0	0	1,130	79
県南	4,471	572	5,056	1,287	1,359	4,250	659
県西	2,994	15	3,012	0	0	4,164	90
県北	848	569	1,442	0	0	3,206	673
合計	9,366	1,156	10,563	1,287	1,359	12,750	1,501

鶏疾病

(単位:千羽)

協議会名	ND	NDIB
	生	生
県中央(大分市)	60	0
県南地域(大野地区)	0	8
県西地区	0	0
県北	0	0
合計	60	8

16. 種畜精液保管譲渡推進事業

豊後牛の生産基盤の確立及び豊後牛銘柄確立のため、地域の実情に応じ大分県肉用牛改良方針に沿った精液の保管譲渡を実施した。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
事業収入	14,815,000	14,320,340
事務手数料収入	930,000	901,604

支 所	譲渡本数 (本)
大 分	2,194
豊後大野	1,246
玖 珠	2,120
宇 佐	1,711
合 計	7,271

17. 予防注射事故対策事業

手当金及び見舞金交付

な し

18. 自衛防疫普及啓発事業

自衛防疫を推進するため、家畜の疾病及び飼養衛生管理に関する研修会の開催や啓発資料の作成・配布を実施した。

・生産者向け「衛生記録手帳」 1,050部